

ボランティアだより

ほのボラ

2015年11月発行 No.28

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0311

京丹波町和田田中6番地1

TEL: 0771-86-1440

FAX: 0771-88-0422

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba/>

社協キャラクター



第4回福祉まつり特別号

11月1日(日)山村開発センターみずほにて「第4回福祉まつり」を開催しました。晴天に恵まれ多くの来場者にお越しいただきました。前日準備、当日とボランティアの方をはじめ、多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。

オープニング 京丹波町共同作業所の利用者による歌披露



京丹波町共同作業所の利用者21人による歌で開会。この日までに練習を重ねた「おどるポンポコリン」と「手のひらを太陽に」の2曲を元気よく披露し、会場内を盛り上げてくれました。

ボランティア功労者表彰

京丹波町社会福祉協議会ボランティアバンクに登録され、長年にわたりボランティア活動을続けて来られた個人の方18名に感謝状を贈呈しました。これからも益々のご活躍を期待いたします。(団体は該当がありませんでした。)

《敬称略》

《辻村》横山 美弥子(竹野ほほえみの会)

《豊田》北村 直子(豊田あじさいの会)

《西階》原 澤 弘子(竹野ほほえみの会)

《水原》軽野 順子(要約筆記サークル ささやき)

《西階》原 澤 豊子(西階区ボランティア)

《水原》塩田 治美(要約筆記サークル ささやき)

《須知》奥 村 益子(須知区ボランティア)

《升谷》出野 肇子(手をつなごう会)

《須知》湊 道子(絵手紙ボランティア)

《篠原》大嶋 淳子(ガイドヘルパーみちづれ)

《蒲生》田端 康江(蒲生ボランティアグループ)

《大迫》大田 アキノ(大迫グループ)

《富田》坂井 歌代子(富田萩の会)

《大迫》堀 鈴代(大迫グループ)

《富田》森田 春美(富田萩の会)

《本庄》吉田 和子(朗読ボランティアこだま会)

《富田》山内 のぶ子(富田萩の会)

《中》片山 勝義(配食ボランティア)

地域障害者福祉功労者表彰

京丹波町共同作業所において、障がいを持つ方々の就労訓練として日ごろから作業や仕事をご提供いただいている地域の企業や個人の方々へ、社協合併10周年を記念し、社会福祉協議会会長から感謝状を贈呈しました。



- 《水戸》 有限会社オアシスランド(細ねぎ調整作業)
- 《上野》 京扇産業株式会社(パイプ加工、ネジのテープ取り)
- 《院内》 アステック(生地を提供)
- 《豊田》 金本商店(アルミ缶納品)
- 《上豊田》 あかりガラス株式会社(ガラス部品の検品)
- 《上豊田》 株式会社山本清掃 京丹波ウエス(ウエス切り)
- 《中台》 株式会社玉抛園(袋入れ、お茶箱詰め)
- 《橋爪》 三井商会(電気コード加工)
- 《井尻》 安田産業株式会社(アルミ缶、段ボール回収)
- 《保井谷》 瑞穂農林株式会社(清掃、袋のシール貼り)
- 《才原》 フナイ産業株式会社(ボンベカバー袋詰め)
- 《和田》 藤原幸子(布靴の縫製)
- 《保井谷》 野村 諭司(種、苗植え、黒枝豆取り)
- 《妙楽寺》 黒井 誠司(野菜袋詰め、黒枝豆取り)
- 《妙楽寺》 城崎 正継(京かんざし袋詰め、黒豆選別)
- 《質志》 神谷 祥久(黒枝豆取り、小豆もぎ)

ボランティア活動発表

① 配食ボランティア



① 配食ボランティア

瑞穂・和知地区の配食をスライドで紹介した後、配食で活躍されている木上さんにインタビューをしました。

② 朗読ボランティア

町内の3サークル合同で「じごくのそうべえ」の絵本劇を披露。出演者の皆さんは役になりきって演じておられました。

③ アロハ・フラ・ピカケ

「小さな竹の橋」「フラオマキ」「カイマナヒラ」の3曲を披露。軽快なステップで会場が盛り上がりました。

② 朗読ボランティア (あかり・ともしび・こだま会) ③ アロハ・フラ・ピカケ



展示コーナー



デイサービス

デイサービスセンター「ほほえみ」は利用者による盆栽と花の寄せ植え展を展示されていました。

普段の活動の様子がわかるボランティアサークルのパネル展示や、職員紹介コーナーもあり、来場者は興味深くご覧になっていました。



ボランティアパネル展示



職員紹介

保健福祉課の 健康増進コーナー

保健師さんによる骨密度、血管年齢、
血圧、体脂肪の測定が行われ、多くの
人で賑わっていました。



共同募金コーナー



災害ボランティアセンター
非常食の試食



訪問入浴車の展示



希望くんと子ども達



エプロンシアター



レクリエーションコーナー



くるみの会コーナー

各種コーナーではそれぞれに趣向を凝らした催し
がありました。災害ボランティアセンター展示では非常
食の試食が好評でした。共同募金コーナーはガチャ
ポンでオリジナル社協バッジを製作。くるみの会コー
ナーでは「いりこのスナック」などの試食をし、手軽
に出来るカルシウム摂取の料理を紹介されていまし
た。ファミサポ会員、子育てサークルさくらんぼによ
るキッズコーナーも大いに盛り上がりました。

しあわせ川柳



あなたが「しあわせ」と感じた瞬間
を五・七・五で表現してくださいと、
募集したところ、多くの作品が集ま
りました。一部をご紹介します。

秋もみじ 想像すれば 天ぷらに
和知小6年 吉田駿

ふうりんが 風にふかれて うたってる
竹野小5年 長谷川莉音

また今日も 雑草と競り合う シイとバア
地区：升谷 ペンネーム：ケイ

明日行くよ 思わずニッコリ 孫メール
地区：上野 ペンネーム：ワレモコウ

しあわせは 今ここに居る 生まれている
地区：瑞穂 ペンネーム：ふうー

要約筆記

模擬店コーナー



聞こえが不自由な方に、福祉まつりの式典や、講演会の様子を文字で伝えました。京丹波町内の3サークル（イヤフレンズ・ささやき・くさぶえ）の方が交代で活躍しました。



今回も 10 団体様に出店いただき、まつりを盛り上げていただきました。季節の食材を使ったかやくごはん、耳うどん、から揚げ、大判焼き等、様々な秋の味覚に来場された方は舌鼓をうっておられました。

作業所コーナーでは自主製品の他、黒枝豆や銀杏も販売され、多くの方で賑わっていました。

記念講演「つながろう地域～共に支え合う社会へ～」 たがわ まさのり 田川 雅規 氏

「グーチョキパーで何作ろう」の手遊び歌から始まった講演。手を動かし何気ない遊びをする事で、普段から人とのつながりを生む「きっかけ」になると話されました。遊びの失敗も怖いが、それも含めて



楽しみ、自分を相手に見てもらえる事が重要だと言われました。それが自分自身にも刺激になりコミュニケーションを生むと、まとめられました。

遊びの中から参加者の心を掴む話術で会場が笑いの空間になっていました。



あそびの工房
もくもく屋（大阪府）



エンディング・セレモニー

らべんだ～ずオカリナ・アンサンブルは「Long Long Ago」「お江戸日本橋」「見上げてごらん夜の星を」の3曲を披露。優しい音色に会場は拍手に包まれました。

【お問い合わせ・連絡先】
京丹波町社会福祉協議会

瑞穂支所 ☎86-1440（榎川）
丹波支所 ☎82-0126（岡本）
和知支所 ☎84-1833（湊）

